



門馬 巧 議員

Jヴィレッジ新駅

整備する必要性は考えられない

町長／財源をしっかりと捉えた予算執行

門馬

Jヴィレッジ新駅設置構想について、突然に負担分担当として1億7300万円余の説明を受けても、本町の発展に寄与する施策とは理解できない。復興再生に疲弊する双葉郡が地元負担をしながら整備する必要性は考えられません。そこで伺います。

①負担割合の1/3は何に基づくものなのか。②地元負担してまで新

駅整備の必要性はあるのですか。

③Jヴィレッジは県の施設であり、県に主体的な負担を求めるべきです。

④町長が主張している広野駅を核とした商店街の振興策との整合性は図れるのですか。

町長

①復興支援等のため、特別にJR東日本が一部負担、残りを県と双葉郡

が1/2ずつ負担するものです。

②Jヴィレッジの魅力を高め、経済の活性化等、新しい双葉地方の創生に寄与するものです。

③双葉郡一体で要望したもので、地元として負担し、県には地元負担の二分の一を負担いただきます。

④Jヴィレッジを貴重な資源として、新駅と二ツ沼総合公園、広野駅等を「線」でつなぎ各種施策を展開していきます。



全天候型サッカー練習場

県派遣研修

職員研修の施策を考慮せよ

町長／実施に向け検討します

門馬

本町の県派遣研修事業は、昭和56年から何年かの中断を挟んで平成13年まで継続してまいりました。

次代を担う広い視野をもって、町民の複雑多様化する要望等に、的確迅速に判断対応できる職員の育成、町民への更なる行政サービス向上、人脈構築にも資すると思われる職員研修の施策を考慮すべきではないですか。

町長

町民の帰還が8割を超え、着実に復興が進展していることから、職員の資質向上や更なる県との連携強化を図るため、県との相互人事交流の実施に向け検討します。

9人の議員が町政を問う 一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いたすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成29年12月定例会● 一般質問 門馬 巧 議員

運転免許証自主返納者への施策を検討せよ

運転免許証の自主返納後、生活の不便が緩和されるような、タクシー利用（町内事業所に限る）施策ができませんか。

支援策を検討する

高齢者本人の交通事故の未然防止と、地域住民が安心・安全に暮らすために重要であるため、運転免許証の自主返納が進むよう、支援策を検討します。

自主返納者への助成制度が施行されます

平成30年4月1日以降に、運転免許証を自主返納した満75歳以上の町民の方（返納日現在）を対象に、広野町内の移動に利用できるタクシー券（20,000円）を交付する支援事業制度ができました。

